第３０回保育者の集い原稿

開催日：令和８年１月１７日(土)９：４５～１６：00

場　所：浦安市民プラザ１０１

【開会式】

千葉県民間保育振興会主催の記念すべき『第 30 回保育者の集い』が、浦安市民プラザ WAVE101 で開催され、200 名近い会員園の職員が一堂に会しました。

開会式では、千葉県民間保育振興会 会長 茂呂剛、千葉県副知事 高梨みちえ氏、ご後援いただいている浦安市長 内田悦司氏が登壇され、幼児教育の現場で働く職員へ激励のお言葉をいただきました。

千葉県民間保育振興会会長　茂呂剛氏

千葉県副知事　高梨みちえ氏

浦安市長　内田悦司氏

【全体会】「たにぞうさんと遊ぼう」(講師)　谷口　國博　氏

松戸市　いわさき保育園園長　橘　朱美

今回の全体会は、保育者の集い三十回の節目として、活気のある研修会にしたく、フリーの創作あそび作家　谷口國博氏をお招きしました。参加者の皆さんが、研修終了後に心が元気になり明日からの活力になればと思い企画しました。研修会開始直後は固い表情で研修を受けていましたが、たにぞう先生の講演が進むにつれ、会場内が楽しい雰囲気となり、参加者の皆さんが、笑顔溢れ素敵な時間となりました。保育現場で人気の、「バスにのって」では、たにぞう先生がＮＨＫ・Ｅテレ「おかあさんといっしょ」に楽曲提供した曲。色々なアレンジ方法を体験し、すぐに現場で活用出来る技術を教えてもらえる貴重な時間となりました。講師の先生より講演の中で、今回の研修を通して日々の保育がより豊かになり、子どもと一緒に楽しみながら遊びの達人になることで子どもも楽しい時間を共有できると教えて頂きました。

多くの学びのある講演を参加者の皆さんと一体となり有意義な時間を共有することが出来た研修会となり、大変嬉しく思います。

【第１分科会】　『０歳児からの段階的運動遊びポップ・ステップ・ジャンプ』

（講師）安田式体育遊び研究所　所長　居関　達彦氏

松戸市　認定こども園風の丘　保育教諭　工藤有沙

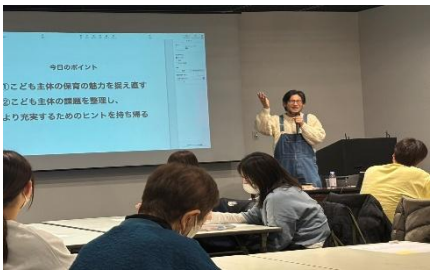
今回の研修では、保育者からの「運動遊びを広げていきたい」という声を受け、安田式体育遊び研究所所長、居関達彦先生を講師にお迎えし、研修を実施しました。

研修では基本動作は反復練習や訓練として行うのではなく、共感遊びの中に取り入れることで簡単な遊びから高度な動きの遊びまでを段階的に発展させていくこと、また指導者主導の遊びを子ども達だけで楽しめるように展開するという考えを軸に講義をしていただきました。共感遊びではハイタッチが年齢問わずにすぐ実践できる一つの遊びとして紹介されていました。研修を通し、子どもの姿は保育者の関わりによって大きく変化すると改めて感じました。出来ないことを訓練的に指導するのではなく、子どもたちが熱中できる運動遊びを考え、「楽しい」「やってみたい」と感じられる関わりや環境づくりを意識し、日々の保育に活かしていきたいです。

【第２分科会】　「遊び・学びが広がる環境づくり―子ども主体の保育を支える実践のヒント―」

（講師）こども環境デザイン研究所 矢生秀仁氏

流山市　あかぎ万葉城の星保育園　池田燎平



研修では、子どもは「教えられて育つ存在」ではなく、自ら出会い、感じ、　選び、確かめる探索活動を通して育つ存在であるという子ども観を基に、遊びを中心とした主体的な学びの大切さについて学びました。また、保育者の関わりには、遊びのきっかけをつくるリードする関わりと、子どもの発想や試行錯誤を受け止め広げるキャッチする関わりがあり、その両方を行き来することが重要であることが示されました。さらに、環境は子どもが続きの遊びを思い出せる安定性や、自ら試せる配置が大切であると学びました。今後は日々の保育を振り返りながら、子どもの姿に合わせた環境づくりと関わりを工夫し、主体性がより育まれる保育を実践していきたいと思います。

【第３分科会】　「うつして発見！いろ・かたち　-身のまわりにあるモノを使って-」（講師）中村光絵氏

八千代市　村上南保育園　小山美穂

今回の研修は『造形表現をもっと身近にできたらいいな』という思いから、和洋女子大学にて准教授をされている中村光絵先生を講師に迎え、主にキットパス(クレヨン)と紙、クリアファイルと割り箸、水を使った研修を実施しました。実際に私たちも行ってみたのですが、『どんな風になるのかな？』というワクワクやドキドキといった期待感がありました。出来上がりを見てみると、イメージ通りにできた嬉しさや、想像と違ったけど不思議で面白いといった様々な感情が芽生えました。大人の私たちがやってもとても楽しい研修内容だったので、子ども達と一緒に行っ

たらどういった風になるのだろうと楽しみにもなりました。これからも、身近な物を使った遊びを楽しめるよう環境を整えていくことはもちろんのこと、子ども達と一緒に行う中で、発見や気付き、学び等を共感できる保育者であり続けたいなと思いました。

【第４分科会】　「子どもに出会い、ともにつくる保育」（講師）　青山誠氏

保育者の集い委員　松戸市いわさき保育園　荻原里奈

今回は、青山誠先生を講師に迎え「子どもの主体性」をテーマに研修を行いました。正解のない難しいテーマだからこそ、主体性を尊重した関わり方を学びたいという保育者の声から実施しました。青山先生ご自身の経験談を交えながら、子どもと保育者の関係づくりの一つとして「ミーティング」の方法を教えて頂きました。日々の保育の中で子どもの思いや気持ちを共有し合い、対話を大切にする実践について学びました。そのなかで、「わからないままの保育、子ども達に教えてもらった」という言葉が印象的で、子どもと向き合う中でこそ学びが深まることを改めて考える機会となりました。

【第５分科会】「10 年後も選ばれる保育園づくり」（講師）　東野 雄太氏

浦安市　入船北保育園　保育士　久保　紀明

「１０年後も選ばれる保育園」というテーマで今回は東野先生にお話していただきました。ご自身が子育てをする中で保育者の専門的な関わり方に感銘を受けて、保育園に携わる仕事を始めたそうです。元々、銀行や保険会社で働かれていた経験を活かし、全国各地の保育園で選ばれる保育園になる為のプロデュースをされています。
東野先生のお話しによるとインスタグラムを有効活用し保育園をアピールすることでやる気に満ち溢れた人材集めが可能になります。また『1on1』人と人との関わりを大切にし、理想の姿と現実的な姿の両方の目標設定を明確にすることで、エネルギッシュな考えを実現してくいような保育園作りに繋がっていきます。その結果、先生たちの活き活きとした姿が増え、園としての特色をしっかりと保護者に伝える事ができ、保護者からも選ばれる保育園になるそうです。

【第６分科会】「発達支援　園から始まる一歩　～気になる子と保護者を繋ぐ支援～」（講師）坂本　洋子氏船橋市

あすなろ保育園　佐々木智子

今回は発達支援をテーマにした研修を行い、坂本先生をお招きしました。発達支援は、保育に携わる者にとって誰もが関心を寄せる大切な分野です。研修では、気になる子どもへの関わり方や、その背景にある子どもの気持ち、また保護者への寄り添い方について、具体的な事例を交えながら分かりやすくご講義いただきました。「子ども一人を育てるには一つの村が必要」というアフリカのことわざのように、子育ては家庭だけでなく、地域や周囲の大人たちの支えがあってこそ成り立つものです。今回の研修を通して、私たち保育士一人ひとりが子どもと家庭をつなぐ存在として、より丁寧に関わっていくことの大切さを改めて学びました。

【浦安キッズダンスショー】

保育者の集い委員長　岩間真佐代

2 回目となる『浦安キッズダンスショー』が今年も開催されました。浦安市内の数多あるキッズダンスチームから選りすぐりの 5 チームが出演し、各チーム 15 分間の持ち時間で全力のパフォーマンスを披露、観客を魅了しました。ジャズダンス、チアダンス、テーマパークダンス、アクロバットパフォーマンスと、ジャンルも盛りだくさん。大ホールは満員となり、運営スタッフ(保育者の集い委員)は想定を超える来場者への対応に苦戦しながらも、臨機応変かつ丁寧に対応しました。200 名近い出演者の子どもたちも、日頃の練習の成果を存分に発揮。フィナーレでは出演チームの子どもたちとチーバくんが一緒に『エビカニックス』を披露しました。アンコールでは客席からの参加者も加わり、会場全体が一体となって盛り上がるダンスイベントとなりました。研修の企画運営だけに留まらない、保育者の集い委員にとって更なる成長の機会となるイベントでした。委員の仕事に興味を持ってくださる方が、1 人でもいてくれることを願っています。